

第2学年3組 図画工作科学習指導案

4校時 場所 低学年図書室
指導者 教諭 金木 慶子

本時の視点 材料に進んで関わりながら、自分の思いを工夫して表すことができる学習指導

1 題材名 「〇〇ロボット」をつくろう

2 目標

- 身の回りの材料などを利用してつくりたいロボットをつくったり、友人のロボットとお話をしたりして楽しもうとする。 (造形への関心・意欲・態度)
- いろいろな表し方を試しながら、発見をしたり、偶然できた形をきっかけにしたりして、発想や構想を膨らませることができる。 (発想や構想の能力)
- いろいろな材料を組み合わせ、自分の表したいものに合った描画材や用具を選び、工夫して表すことができる。 (創造的な技能)
- 互いの思いや考えを伝え合い、表し方のよさや面白さを感じ取ることができる。 (鑑賞の能力)

3 題材について

本題材は、自分で集めた箱や容器などを主材料としてロボットをつくっていくものであり、いろいろな材料の形から想像を広げ、材料の特徴を生かしてつなげたり組み合わせたりしていくものである。身近な材料に十分に触れ合い、材料のつなげ方や組合せ方などを工夫して表す活動の中で、材料に簡単な加工を施したり、色紙などで形をつくって装飾したりすることもできる。最後には、つくったロボットを使ってお話を考えたり、友人のつくったロボットと遊んだりしながら、互いのよさを感じ取ることができる題材であると考えた。

本学級の児童33名は、図工の授業を楽しみにしており、実態調査によると、「図工が好き」と30名の児童が答えている。また、立体に表す活動については、「好き」と答えた児童が31名だった。好きな理由としては、「いろいろなものを使って一つのものをつくれる。」、「何をつくるか考えるのが楽しい。」、「どんな形になるか楽しみ。」、「つくったもので遊ぶのが楽しい。」などを挙げている。しかし一方で、色塗りやはさみで切るなどの作業を丁寧に行うことができなかつたり、生活の中で材料に十分に触れ合うことがないために材料から感じる思いを作品に生かすことが難しかったりする児童もいる。また、1年生のときの工作では、材料を自分で集めずに家の人に集めてもらい、家の人の言う通りに組み立てた児童もいた。

そこで、本題材では、図画工作科の工作の活動における発想・構想の力を伸ばすために、多くの材料に親しませ、作品に対する自分のイメージをもたせることが必要であると考えた。そのために、学習の1か月前には家庭に連絡をして、収集箱を用意しておき、いろいろな材料を児童自らが集められるように協力をお願いした。製作の段階では、始めに材料で十分に遊ぶ時間をとることによって、発見をしたり偶然できた形をきっかけにしたりして発想や構想が膨らむように展開していく。また、机上でなく床で行うことにより、大きさにこだわらずに作品をつくったり、材料コーナーを設けることによって、あまり材料を集めることができなかつた児童が自由に使ったりできるようにしておく。鑑賞の活動においては、自分の作品のよさだけでなく友人の作品のよさに気付かせながら、言語活動の充実を踏まえた授業を展開することで、思考・判断し、表現する力を育てることができると考え、本題材を設定した。

4 指導と評価の計画 (5時間取扱い)

時	段階	学習活動	観点別評価規準			
			造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
1	出会う	「集めた材料で遊んで、『〇〇ロボット』をつくろう」	いろいろな材料に進んで関わり、楽しくつくろうとしている。 (観察)	いろいろな表し方を試しながら、発見をしたり、偶然できた形をきっかけにしたりして、発想や構想を膨らませている。 (観察, 作品, 学習カード)		
2	ねる	いろいろな材料で遊び、試しながらつくる。				
3	本時	「『〇〇ロボット』をつくろう」	材料に関心をもち、そのよさや面白さに気付きながら、つくることを楽しもうとしている。 (観察)		いろいろな材料を組み合わせ、自分の表したいものに合った描画材や用具を選び、工夫して表している。 (観察, 作品, 学習カード)	
4	す	自分の思いに合わせて工夫して「〇〇ロボット」をつくる。				
5	まとめ	「友人と『〇〇ロボット』で遊ぼう」 完成したロボットで、友人のロボットと遊ぶ。	自分や友人の作品のよさや面白さに関心をもちようとしている。 (観察)			互いの思いや考えを伝え合い、表し方のよさや面白さを感じ取っている。 (発表, 学習カード)

5 本時の指導

(1) 目 標

- 材料を選び、積んだり並べたりすることによって、自分の表したいものに合った描画材や用具を選び、工夫して表すことができる。

(2) 準備・資料

教師…箱、容器、ラップの芯、色画用紙、ラシャ紙、段ボール、マジックペン、ビニルテープ、セロハンテープ、布テープ、木工用ボンド、カッターナイフ、ゴム、スズランテープ、ホチキス

児童…箱、容器、ラップやトイレットペーパーの芯、トレイ、はさみ、のり、ビニルテープ、セロハンテープ、折り紙、学習カード等

(3) 展 開

学習活動・内容	指導の手立て・評価
<p>1 学習内容をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>あきばこやようきで、〇〇ロボットをつくろう。</p> </div> <p>2 自分のつくりたいロボットをつくる。</p> <p>(1) つくりたいものをイメージする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2本足のロボットにしよう。 ・たてに長いロボットにしよう。 ・プロペラを付けよう。 <p>(2) 空き箱や容器の組合せ方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭や体、手はどの箱にしようかな。 ・積み重ねると背の高いロボットになるよ。 ・犬のように4本足にしよう。 ・箱を切ると面白いよ。 <p>(3) つなぎ方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セロハンテープでつなげよう。 ・ボンドを使おう。 ・ビニルテープを使うと色がきれいだよ。 ・細い箱を首にすると面白いね。 ・手や足が動くようにしたいな。 <p>3 本時の学習を振り返る。</p> <p>(1) 今日の活動を振り返り、学習カードに記入する。</p> <p>(2) 自分の工夫したことや発見した友人のよさ等を発表する。</p> <p>4 次時の学習を確認する。</p> <p>5 後片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に考えた箱の積み重ね方や並べ方の例を写真や模型を提示し、自由な発想を称賛することで、学習意欲を高めるようにする。 ・用具の使い方や時間などの約束ごとを確認しながら、安全面や活動時間の意識付けをする。 ・前時の活動から、児童の考えやつくりたいものを学習カードなどで把握し、一人一人の思いを共感的に捉え指導・助言に生かしたい。 ・箱や容器の向きをいろいろ変えることによって、様々な形に変化することに気付くように、参考資料等を用意しておく。 ・イメージが膨らまず活動が進まない児童には、教師と共に選んだ箱や容器の組合せ方を話し合いながら、思い付いたことをどんどん試したり、参考資料を見たりすることで、イメージをつかむきっかけづくりをしたい。 ・自分の用意した材料だけでは足りない児童には、材料コーナーのものを使ってもよいことや、友人と材料を交換してもよいことを伝える。 ・工夫して活動したり、材料の特徴をうまく生かして作品づくりをしたりしている児童を称賛する。 Ⓧ 材料を選び、積んだり並べたりすることによって、自分の表したいものに合った描画材や用具を選び、工夫して表している。 (観察、作品、学習カード) ・ボンドでつなげている児童には、接着するまでに時間がかかるので、ゴムやひもで仮にとめておき、その間に別の部分をつくっているように助言する。 ・活動の途中で友人の作品を鑑賞してもよいことを伝える。その際、友人の表し方のよさや工夫点などを自分の作品に生かしてもよいことを話す。また、自分の上手いかない点を相談してもよいことを伝える。 ・自分が工夫したことやがんばったこと、困っていること、友人の工夫していたことなどを発表し合うことにより、今後の自分の表現に生かせるようにする。 ・次時の活動では、作品を完成させることを伝える。今日の作品づくりの中で、もっと使いたい材料が来てきた児童には集めておくように話す。 ・教材・教具は、きちんと元の場所に戻し、使える材料は袋の中にしまわせるようにする。

(4) 板書計画

㊦ はこやようきをつかって、〇〇ロボットをつくろう。

はこのおもしろいかさね方
いろいろなわざをつかおう。

写 真

写 真

写 真

〇だんボールカッターのつかい方

ちゅうい
ボンドやテープなどをつかいすぎない
ようにしよう。

11:55から

〇 ふりかえり

〇 かたづけ

- ・ どうぐはもとあったばしょへ
- ・ つかえるものは、ふくろの中かリサイクルばこへ